

No. 2900

2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：嶋田(ひ)委員、児嶋委員



第2640地区
例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!

行動を起こそう！そして楽しもう！



次回のお知らせ

平成31年2月28日 第2902回

・後期IDMの発表

・ソング：「四つのテスト」

本日のプログラム

平成31年2月21日 第2901回

・クラブ協議会

創立60周年記念事業について

・ソング：「それでこそロータリー」

前回の報告（第2900回例会）

開催日 平成31年2月7日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (石垣(泰)親睦活動委員長)

ゲスト：宇治川 貴史 様(ロータリー平和フェロー)

今月の誕生・結婚祝

(石垣(泰)親睦活動委員長)

会員誕生：松村君、橋爪(正)君



2月のお誕生日、松村君に上野山(栄)会長より記念品が贈られました。

配偶者誕生：橋爪千恵さん、橋爪美智代さん

結婚記念：木本君、児嶋君、菅原君



2月が結婚記念の方々。(左から)児嶋君、木本君、菅原君です。おめでとうございます！

会長の時間

(上野山(栄)会長)

「キャリア教育」

先週は木本さんと職業奉仕委員会にお世話になり、とても有意義なローテーションデーを行うことが出来、有難うございました。さて、2月の月間は「平和と紛争予防／紛争解決」であります。その月間にふさわしく、本日は念願の平和フェロー様をお迎え出来ました。宇治川さんはスウェーデンのウプサラ大学のロータリー平和センターにて、平和学・紛争解決学を学び修士号を取得されました。本日は岡山より遠路お越しいただきました。後ほど卓話を頂きますが、どうかよろしくお願い申し上げます。



先日からご案内しております社会青少年委員会の職業紹介事業ですが、箕島高校のキャリア教育の一環として3月15日に開催する運びとなりました。これはロータリーデー「僕らがありだを楽しいまちにする！」の中のひとつのチームの企画であったものが社会青少年奉仕委員会の希望事業と重なり、箕島高校に落とし込んで提案させて頂いたところ、校長先生もキャリア教育に力を入れたいとの考えであったため、話がすぐにまとまり実現となりました。

箕島高校では通年、卒業生の中で80～90人の就職希望者がいます。しかしながら就職先を見極める手立てがあまり無く、十分な時間をかけて自分の将来(夢)を見出すことが出来ないまま就職してしまう場合や仕事が決められないので専門学校に入学し、そのまま地元に戻らないケースもあります。地元の企業側としても自社の仕事を十分に理解して選択肢に選んでももらえればと考えています。今後、人材不足は必須であり、地元の子供達が地元で安心して働き、夢を描ける環境をつくることも地域には必要不可欠

であり、私たちの目指す「持続可能な地域づくり」にも繋がる事業だと考えます。この事業に関しては日程が近づきましたら社会青少年委員会より詳しく説明があると思いますのでご協力をお願い致します。

ところで、キャリア教育のキャリアという言葉の定義を皆さんはご存知でしょうか？「キャリアを積む」とか「ノンキャリア」とか、デジタル用語で使う全く違う意味もあります。キャリアという言葉、取り間違えるとおかしいことになります。

文部科学省のキャリア教育に関する文章を閲覧してみると、キャリアとは「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程(働くこと)で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく(自分らしい生き方)連なりや積み重ね」と定義しています。キャリア教育とは「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、自立的に自己の人生を方向付けていく教育」であり、子どもたちが「生きる力」を身に付け、社会の激しい変化に流されることなく、それぞれが直面する様々な課題に、柔軟かつたくましく対応し、社会人として自立していくことを目的としています。

今日の情報化社会の中で環境も大きく変わり、生きる力を身につける教育が小学校から実施されています。このような時代こそ、地域も地域の子供達の為に学校と協力し地域の宝を育てて行く役割を担うべきです。職業人にもキャリア教育の一端を担う責任があるとあらためて感じています。

幹事報告 (嶋田(崇)幹事)

- ①次週の2/14(木)は、祝祭日(建国記念日)のある週で休会です。
- ②次週、後期IDMを2/12(火)と2/14(木)、両日とも18時30分から、橘家さんで開催致しますので、皆さんご出席を宜しくお願いします。
- ③本日の例会終了後、この場所にて第8回定例理事会を開催致します。理事会メンバーの方はご出席を宜しくお願いします。
- ④2/21(木)の経済クラブは行事のためお休みです。使用できませんのでご注意ください。



委員会報告

- *職業奉仕委員会(井上委員長)
先週のローテーションデーの参加の御礼
- *R財団委員会(松村委員長)
成川(守)君より、「ロータリー平和センター」への恒久基金を頂きました。

JRIC オフミ会の案内

(成川(守)君・JRIC2018-2020年度理事)

日時:平成31年3月2日(土)

17:00~

場所:KEY TERRACE SHIRAHAMA(旧ホテルシーモア)
(西牟婁郡白浜町)

会費:おひとり 11,000円

卓話:NPO法人白浜レスキューネットワーク 理事長 藤藪庸一氏「自殺志願者と歩んだ20年(仮)」

懇親会:18:00~ エンターテイメント:ソプラノ歌手 前田佳世氏(元2640地区ロータリー財団奨学生)



<JRIC 全国ロータリアンインターネット協議会>

Japan Rotarian Internet Conference

INETを通じて会員相互の交流、連携、情報交換を持つことによりロータリー活動のOA化、迅速化、情報化、効率化の推進発展に寄与することを目的に、1998年9月に誕生。スタート時の会員数は約100名。

現在のJRICの活動は、<http://www.jric.gr.jp/>にて。



JRIC発起人会(1998年)

上段右端が発起人の一人、成川(守)君

出席報告 (木本例会運営委員長)

本日の会員数31名

(出席規定免除会員9名)

出席会員数27名

(出席規定免除会員8名)

90.00%

1/24 77.79%

MU:脇村君

ニコニコ箱の報告

(松村SAA)

上野山(栄)君:ロータリー平和フェロー宇治川貴史様、本日は有田ロータリークラブにお越し下さいましてありがとうございます。卓話楽しみです。

嶋田(崇)君:宇治川様、本日は遠いところより卓話にお越し下さり、誠に有難うございます。

宮井君:宇治川様、本日は卓話ご苦労さんです。勉強させていただきます。

丸山君:宇治川様、卓話楽しみにしていました。最近創作落語に興味があります。

嶋田(ひ)君:宇治川様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。卓話宜しく願います。

中元君:宇治川貴史様、ようこそ有田RCへ。

児嶋君:宇治川貴史様、有田ロータリーへようこそ。卓話よろしくお願いします。

菅原君:宇治川様、卓話よろしくお願い致します。

児島君:宇治川様、ようこそ有田RCへ。お話楽しみです。

橋本君:宇治川貴史様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願いします。

橋爪(誠)君:宇治川様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願いします。勉強させていただきます。

成川(守)君:宇治川様、ようこそ有田へ。

木本君:宇治川貴史様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しく願致します。

上野山(捷)君:宇治川貴史様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願い致します。

川口君:宇治川様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しく願致します。勉強させていただきます。

井上君:宇治川様、本日の卓話よろしくお願い致します。

原君:2019年初めての参加です。遅くなりましたが、明けておめでとうございます。今年も宜しく願います。

松村君:宇治川様、卓話楽しみです。戦争と紛争と平和、勉強させていただきます。

卓話者紹介 成川(守)君

宇治川貴史君のご紹介

皆様、「ロータリー平和フェロー」って、ご存知ですか？関西地区では知らない会員が多いです。昨年2月の私の会長の時間にPPTで紹介しました。

今回宇治川君をお招きすることになったのは、ロータリーボイスで、「私が平和フェローシップを志した理由」という記事を拝見し、2月の「平和と紛争予防／紛争解決月間」に有田RCの卓話に来ていただきたいと上野山(栄)会長と相談し、日本事務局の財団室 寄付推進コーディネーター 近藤かおり様にメールアドレスをお聞きし依頼した次第です。宇治川君、よろしくお願いします。

卓 話



ロータリー平和フェロー
宇治川 貴史 様

「ロータリー平和フェローシッププログラムで学んだこと ～戦争と紛争と平和～」

みなさま、はじめまして。2016年度平和フェローの宇治川と申します。本日は、このような機会をくださり、誠に有り難うございます。

今月は平和・紛争解決月間とのことで、私のこれまでの経験、特に平和フェローシップで学んだことを分かち合うことで、みなさまと平和について考える機会になればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

まずは簡単に自己紹介をさせていただきます。私は大学卒業後にブラザー工業株式会で4年間勤めました。テプラをご存知の方はいらっしゃるでしょうか。テプラのようなシールやラベルをつくる機械の商品企画業務をしていました。その後、難民を助ける会という日本のNGOに就職いたしました。NGOというのは、非政府組織、つまり民間の団体という意味です。主に海外駐在員として、中でも、北アフリカのスーダンで2年7ヶ月ほど勤めました。スーダンでは、地雷や不発弾が残っており、周辺住民が地雷被害に合わないよう教育をしたり、地雷被害者の支援をしていました。また、水不足で困っている地域に給水施設を設けたり、トイレを建設したりしました。このスーダン駐在中に平和フェローシップに応募して、運良く合格し、スウェーデンのウプサラ大学で学ぶことが決まりました。

平和フェローシップについて、あまりご存知ない方もいらっしゃるかもしれませんが、簡単にお話させていただきます。ロータリー平和フェローシップは、アメリカ、イギリス、スウェーデン、オーストラリア、日本の世界5カ国、全6校の平和センターがある大学で、平和学・紛争解決学の修士号を取得できるロータリーの奨学金プログラムです。各大学で毎年約10名選ばれます。世界中の若者が応募するプログラムで、私の学年では、アメリカ、カナダ、アルゼンチン、オーストラリア、インド、ケニアから平和フェローが選ばれていました。大学院修士課程ですので、クラスメートは平和フェロー以外にも30名ほどいまして、ヨーロッパ諸国に加えて、メキシコやブラジルなどから学生が学びに来ていました。日本からは私だけでした。

私が通ったウプサラ大学というのは、首都ストックホルムから電車で40分程北上したところにあります。15世紀、日本で言う室町時代に設立された歴史ある大学です。「スウェーデンに住んでいました」と言うとき、寒くて大変だったでしょうと言われることが多いのですが、寒さはさほど問題ではありませんでした。雪もよく降りますし、寒いときにはマイナス20度を下回ることもありましたが、建物内は24時間暖房が入っていますし、寒いからこそ、湖でスケートやクロスカントリーを楽しむことができました。本当に辛かったのは冬が暗いことです。10時頃に日が昇ったと思ったら、3時には真っ暗。朝日が出たと思ったら、夕日になって沈むという感じです。ですので、朝家を出るときも、家に帰るときも真っ暗です。私がいたスーダンは毎日太陽サンサンでした。スウェーデンで学んだことの一つは、日光は大切だということです。

平和フェローシップでは、通常の修士課程に加えて、貴重な経験を色々させていただきました。例えば、イギ

リスブラッドフォードの平和フェローと一緒にノルウェーに行き、ノーベル平和賞に関わる方のお話や、ノルウェーの外務省や研究所の方のお話を伺うことができました。また、地元のロータリアンの会合にも参加させていただいたり、ホストファミリーと呼ばれる家族のようにサポートをしてくださる方もいて、とても充実した時間を過ごすことができました。

では、ここから、私が学んだことをお話させていただきたいと思います。

みなさま、平和とは何でしょうか？ 平和と聞いて連想することは何でしょうか？ 鳩、私の出身地広島では折り鶴、ピースサインもよくみます。しかし、平和とは具体的にイメージしにくいものでもあります。平和というのは様々な定義がありますが、欠かせない最低限の条件というのは、戦争がない状態です。

では、戦争とはどういう状況なのでしょう？ 私が通っていたウプサラ大学には、戦争の死傷者数をカウントするデータベースがあるのですが、そこの定義によると、「2つ以上のグループが武力行使をして、年間25名以上が死亡している」というものです。つまり、武力、暴力による死者が一定数いるというのがポイントです。

では、紛争というのは何でしょうか。これは利害関係が対立する2つ以上の主体が争っている状況です。つまり、ここでは利害が対立して争っているというのがポイントです。

では、紛争がない状態が平和にとって好ましいのかというと、私が見てきた限りそうではありません。例えば、独裁政権の国では、住民が政府を批判したり、反政府活動をするのを抑圧されています。平時は至って何もおきていない、静かなのです。ただ、沈黙しているのです。そういう国こそ、フラストレーションが爆発して、一気に戦争になることがあります。

人が共に生きる限り、争いというのは起こります。みなさんの家庭や職場や地域社会を考えていただければ、納得いただけるのではないのでしょうか。争いはあることを前提とすると、大事なことは、争いをどう解決するか、ということです。暴力ではない方法で解決する、それが私が学んだ、平和へのポイントです。

では、争いが起こるタネは何なのか、紛争の解決の邪魔をするものは何なのか。私が興味を持って研究テーマにしたのは記憶です。記憶というのは、しばしば対立のタネになります。「あの人にああやられた。」という記憶は残っていますよね。一生恨んでやる！と思うこともあります。

第二次世界大戦と聞くと、みなさんは何を思い出すでしょうか？ 少し考えてみてください。どういったことが思い浮かんできましたか？ この中で、実際に戦争を体験された方はいますか？ つまり、1945年以前に生まれていて、その時の実体験を記憶している人です。このように、実際に体験していないけれど、戦争の記憶は、私たちの社会の中で引き継がれています。これを私たちの社会の記憶と言います。記憶というのは、共有されています。

最近で言うと、新日鉄の徴用工問題による日本と韓国の一連の争いはまさに、戦時中の記憶によるものです。記憶とは過去ではなく、現在です。つまり、過去のことを

「今」思い出しているのです。そして、ここがポイントなのですが、何を思い出すかは、今の環境が影響を与えていると研究者は言っています。つまり、環境や時間が変われば、記憶は変わるのです。記憶はもろいのです。

私は、ボスニア戦争の記憶について現場で調査しました。ボスニアというのは、旧ユーゴスラビアの国で、90年代にセルビア系、クロアチア系、ムスリム系の3つの民族間で武力紛争が起きた国です。この戦争は、国際社会の介入の結果、3つの民族が平等に力を持ち合うということで終わりました。どういうことかと言いますと、国のトップは、定期的に民族毎に変わります。大臣等の要職も変わります。学校も民族によって違います。言語は3民族毎にあります。この3言語は、とても似ていて、関西弁と標準語くらいのもので。今でも民族間の亀裂が大きく残っています。国の北西部に、スレブレニツァというムスリム系住民がセルビア系兵士に大量に殺害された場所があります。その追悼イベントに参加しましたが、国中のムスリム系の人たちが集まって、セルビア人がどれだけひどいことをしたのか、悲しみを共有し、セルビア人への罪の償いを求めるスピーチもされていました。逆に、セルビア系住民も、その戦争で亡くなった犠牲者を弔っており、お互いがお互いを批判する状況でした。どちらも「自分たちは犠牲者だ」と言っているのです。

日本の戦争の記憶はどうでしょうか。みなさんが先ほど思い浮かんだ記憶はどのようなものなのでしょうか？ 国を守るために犠牲になった英雄の話、原爆によって大量に人がなくなった話、大抵は犠牲者としての記憶です。加害者としての記憶はあまり語られないのです。

私は、広島で生まれ育ったこともあり、小学生のときから原爆について教育を受けてきました。それは犠牲者としての記憶、そして、それを繰り返さないようにというメッセージです。過去の悲惨な記憶を忘れるな！というの、よく言われます。たしかに大事なことだと思います。忘れるか覚えておくかではなく、どう記憶しておくかというのを私たちはもっと考えないといけないのかもしれない。そして、本当に平和を維持するためには、今の記憶、つまり「犠牲者」としての記憶だけを保持していればいいのか、考え直す必要があるのかもしれない。

以上です。ご静聴ありがとうございました。

閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)

親睦家族旅行「弥生新緑の旅」

日程：平成31年3月31日(日)

集合場所：シェア有田駐車場

→海南市・和歌山

集合時間：9時30分

見学・昼食：河内ワイン・ワイナリー

夕食：五條源兵衛

会費：お一人様 5,000円